

サイエンスクリエイト  
「土木構造物センシング研究会」

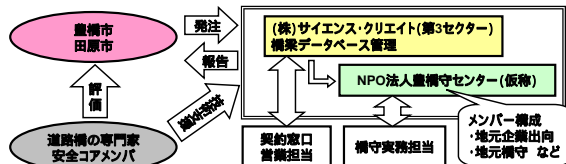
地元企業  
(橋梁メーカー, コンサル  
建設会社など)

豊橋技術科学大学  
未来ピークルリサーチセンター  
安全コア

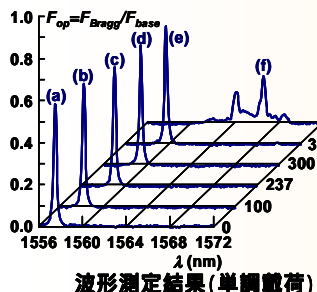
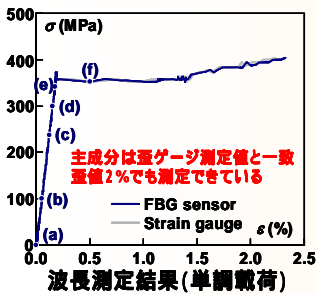
東三河地域防災研究協議会  
道路橋部会

豊橋市・道路維持課  
田原市・土木部

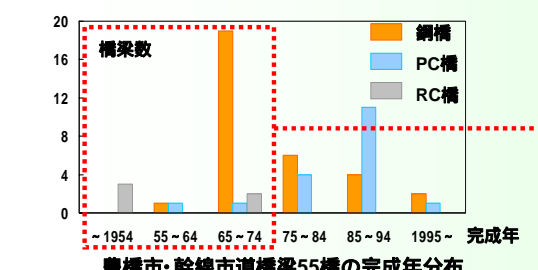
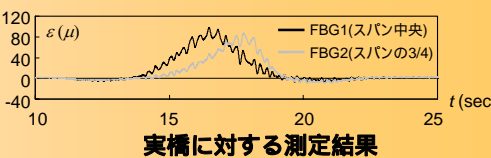
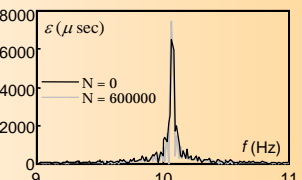
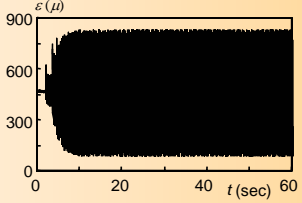
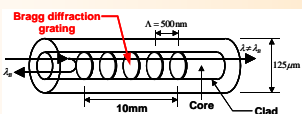
高性能で環境に優しい未来型の自動車の開発と平行して、それらが走行する道路とその関連インフラを常に高品質で維持することも極めて重要。しかるに我が国では、1960年～1980年にかけて集中的に大量に整備された交通関連インフラ（特に道路橋）の高齢化。産業廃棄物処理、公共事業財政の削減の観点から、できる限りの長寿命化が必須。それには、センシングにより性能維持状態を評価しつつアセット保全・更新のシナリオ（維持管理モデル）構築法の開発が必要。



想定するアセット保全支援実施体制



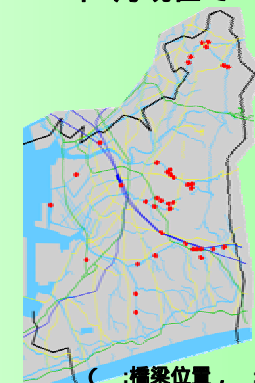
## 光ファイバセンサを用いた橋梁モニタリング



## 実橋に関する合同調査

2005年1月現在で38橋を調査

橋齢30年を超える橋梁の  
損傷状況



目視調査を行った  
38橋梁の位置図

## 目視調査をもととした橋梁データベース試作版の構築

豊橋市橋梁データベース“MATSU” <http://www.st.tutrp.tut.ac.jp/ToyoHashi/>

- 階層3: データベース管理者**  
(豊橋技術科学大学山田聖志研究室, 豊橋市役所, 土木構造物センシング研究会幹事)  
橋梁概要や目視点検調査詳細の記入, 修正
- 階層2: 合同委員会メンバー**  
(東三河地域防災協議会, 土木構造物センシング研究会のメンバー)  
目視点検調査詳細の閲覧
- 階層1: 一般ユーザー**  
各種分類表示, 地図, 各橋梁概要の閲覧



閲覧目的による3階層のアクセス形態

トップページ

全橋梁一覧

各橋梁概要の表示